

学校教育目標  
未来に向かって 心豊かにたくましく 自ら学ぶ生徒の育成

# 学校だより「この丘に」

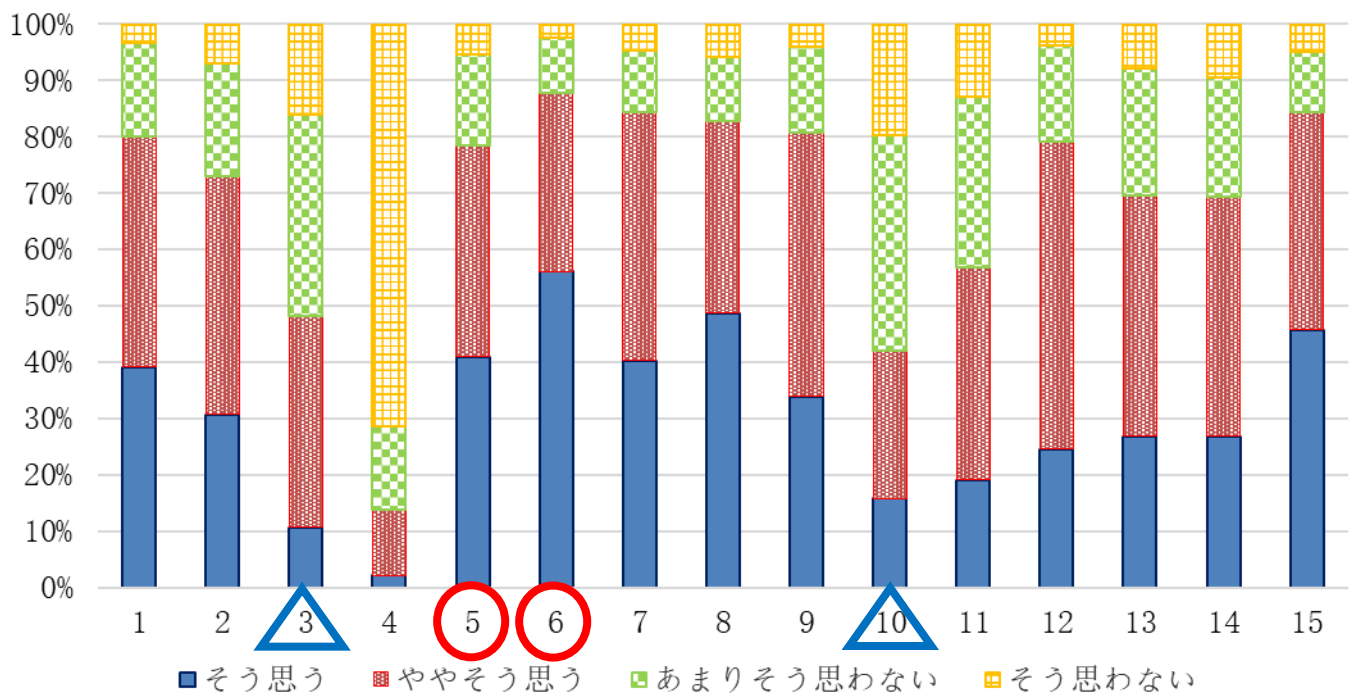
発行：仙台市立南中山中学校  
令和3年1月22日

校長 岡田 雅彦  
生徒数 542名(令和3年1月6日現在)  
〒981-3213 仙台市泉区南中山 2-26-1  
TEL 022-376-3127 FAX 022-348-2358  
URL <http://www.sendaic.ed.jp/~emuchu-x/>  
e-mail emuchu-x@sendai-c.ed.jp

## ◇ 令和2年度 学校評価アンケート結果について（お知らせ） ◇校長 岡田 雅彦

12月に実施いたしました学校評価アンケートに多数の方々のご協力いただき誠にありがとうございます。本校では「未来に向かって 心豊かにたくましく 自ら学ぶ生徒の育成」の実現に向け、毎年、学校評価アンケート調査を実施し、教育活動の改善に生かしております。このたび、保護者の皆様ならびに生徒の皆さんにお願いしました学校評価アンケート調査結果をまとめましたので、お知らせいたします。各項目の集計結果につきましては、別紙をご覧ください。

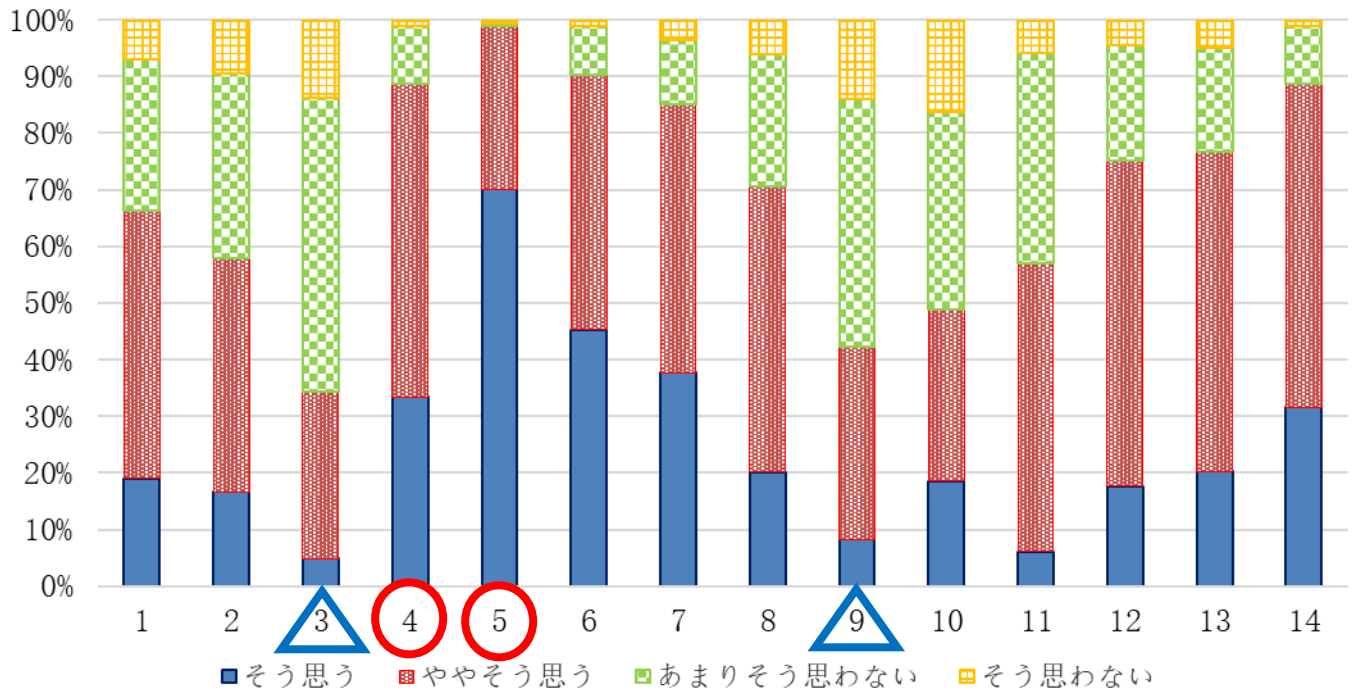
### 生徒アンケート集計結果



- 1 わたしは、将来の職業や世の中のしくみについて、関心を持っている
- 2 わたしは、将来の夢を実現するために、どのような進路に進むか、進路計画を考えている
- 3 わたしは、地域とのかかわり合いをもって生活している（地域での行事、ボランティア活動等）
- 4 わたしは、地域の行事に参加している \*コロナ禍の中で地域行事が減少したことが数値に現れた。
- 5 わたしは、家族と学校のことや将来の夢、今後の進路について、話をしている
- 6 わたしは、将来の夢を実現するためには、勉強だけでなく、挨拶や清掃活動など、日常的な努力も大切だと思っている
- 7 学校での進路学習や職場体験活動は、将来の夢の実現を考える上で、役に立っている
- 8 わたしは、現在の学校生活は楽しく、満足している
- 9 わたしは、規則正しい生活を心掛けて実行している
- 10 わたしは、授業中、先生の説明や友達の発表に疑問を持った時は、進んで質問している
- 11 わたしは、家庭での学習習慣が身に付いていて、毎日、家庭学習に取り組んでいる

- 12 学校の授業は、わかりやすく工夫されていると思う
- 13 学校は、悩みや相談に応じてくれている
- 14 学校は、いじめやトラブルなど、困ったことに対応してくれる
- 15 学校の行事は、みんなが楽しく行えるように工夫されている

### 保護者アンケート集計結果



- 1 お子さんは、将来就く職業や社会のしくみについて、関心を持っている
- 2 お子さんは、将来の夢を実現するために、どのような上級学校に進むかなど進路計画を考えている
- 3 お子さんは、地域とかかわり合いをもって生活している（地域行事等の参加も含む）
- 4 保護者は、お子さんと学校のことや将来の夢や今後の進路について、話をしている
- 5 保護者は、将来の夢を実現するためには、勉強だけでなく、挨拶や清掃活動など、日常的な努力も大切だと思っている
- 6 学校での進路学習や職場体験活動は、将来の夢の実現を考える上で、役に立っている
- 7 お子さんは、現在の学校生活を楽しく、満足していると思う
- 8 お子さんは、規則正しい生活を心掛けて実行していると思う
- 9 お子さんは、授業中、先生の説明や友達の発表に疑問を持った時は、進んで質問していると思う
- 10 お子さんは、家庭での学習習慣が身に付いていて、毎日家庭学習に取り組んでいると思う
- 11 お子さんは、「学校の授業はわかりやすく工夫されている」と、感じていると思う
- 12 学校は、お子さんが悩んだり相談したいと感じたりしたときに、相談に応じてくれたと思う
- 13 学校は、お子さんがいじめやトラブルなど、困ったことに面したとき、対応してくれたと思う
- 14 学校の行事は皆が楽しく行えるように工夫されていると思う

本校では、協働型学校評価の重点目標に基づき、自分づくり教育に係る教育活動を進めてまいりました。

特に今回のアンケートでは、「家族と学校のことや将来の夢、今後の進路について、話をしている（生徒5と保護者4）」「将来の夢を実現するためには、勉強だけでなく、挨拶や清掃活動など、日常的な努力も大切だと思っている（生徒6と保護者5）」の結果に注目しました（○印参照）。集計結果から、生徒・保護者の卒業後の進路に対する意識の高さが伺えます。今後も3年間を見通し、職業・上級学校調べや進路説明会等の実施、職場体験や校外学習などの体験的な学習の充実を図りながら、生徒の自己肯定感を高めたいと考えます。

一方で、「地域とかかわり合いをもって生活している（生徒3と保護者3）」や「授業中、先生の説明や友達の発表に疑問を持った時は、進んで質問している（生徒10と保護者9）」については、改善が必要であると感じます（△印参照）。授業における効果的なICT活用の工夫や話し合い活動の充実、教育相談の拡充を図るなどの工夫を取り入れたいと考えています。

今後は、学校評議員・学校関係者評価委員会において、今回の生徒・保護者や教職員アンケートの結果を基に、本校の課題となっている自己肯定感の底上げや学力向上への取組等について、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えています。保護者の皆様からいただいたアンケート結果と併せ、来年度の学校運営及び教育活動の改善に生かしてまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。